

令和6年度 南丹市市民後見人フォローアップ研修(前期) まとめ

1【目的】

南丹市市民後見人候補者名簿登録者のモチベーションや知識、スキルの維持・向上。
受任している市民後見人のスキルの向上を目的として実施する。

2【対象者】:南丹市市民後見人候補者名簿登録更新者 12名
(参加11名 欠席1名)
※欠席者1名には、後日資料とまとめを郵送

3【実施日】:令和6年7月18日(木)13時00分～16時

4【会場】:園部文化会館(アスエルそのべ) 大研修室1. 2

5【内容】:

成年後見人としてご本人の意思決定を支えるために
～厚生労働省の意思決定支援研修を活用して～
講師 : 権利擁護・成年後見センター相談支援員 林 高秀

- 1 権利擁護の観点から意思決定支援を学ぶ
○講義、動画、グループワーク、まとめ
- 2 本人(当事者)視点から意思決定支援の重要性を学ぶ
○講義、動画1～3、グループワーク等、まとめ
- 3 本人を中心とした意思決定支援ミーティングのあり方を学ぶ
○動画1～3、グループワーク、講義、まとめ

厚生労働省が、令和5年度に実施した市民後見人、親族後見人など成年後見人等を対象とした、意思決定支援研修の中身を参考に、当事者の声や、事例映像などを取り入れ、具体的な学びを深められる研修。

6、出席状況について

対象者数:12人
出席:11人 欠席:1人

※社会福祉協議会:3人

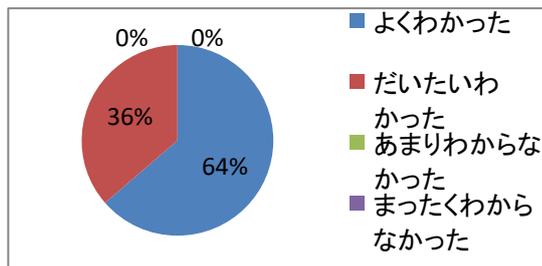
	人数	再掲	
		男性	女性
出席	11	5	6
欠席	1	0	1
計	12	5	7

7、アンケートについて

配布数:11人 回収:11人 回収率:100%

1、権利擁護の観点から意思決定支援を学ぶ

	人
よくわかった	7
だいたいわかった	4
あまりわからなかった	0
まったくわからなかった	0
計	11

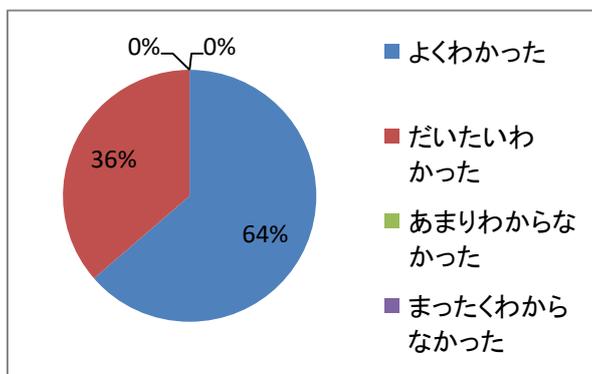


【自由記載】

- 意思決定は奥が深い。このような研修ができることを誇りに思う。
- 本人の言葉から本人の願いや思いを汲み取る事の大切さを学ぶことができました。
- どんな人も意思があり、本人の意思を大切にすることがよくわかりました。
- 支援していくには、支援者側の姿勢が大切である。
- 内容が濃くなり良かった。

2、本人(当事者)視点から意思決定支援の重要性を学ぶ

	人
よくわかった	7
だいたいわかった	4
あまりわからなかった	0
まったくわからなかった	0
計	11

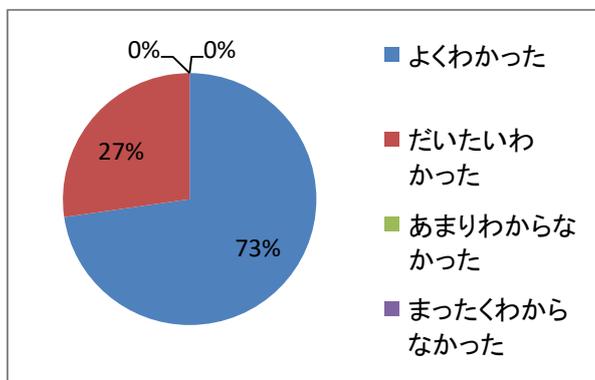


【自由記載】

- 本人の意思を確認するために様々な工夫をすることが大切であり、高齢者や障害の特性等を学んでいく必要があると思いました。
- 当事者の意向をかならずしっかり知ることにより当事者にとって良い支援が出来ると思う。
- 本人をよく理解した上で意思決定の支援をおこなうことが重要であること。
- 本人の状態の把握や好き嫌いの確認等の重要性を再確認をした。

3、本人を中心とした意思決定支援ミーティングのあり方を学ぶ

	人
よくわかった	8
だいたいわかった	3
あまりわからなかった	0
まったくわからなかった	0
計	11



【自由記載】

- 話し合いのルールを示すこと、事前準備が大切であることがよくわかりました。
- 会議のルールがあることが、今後の支援の仕方を考える上で大切なことだと思った。
- ロールプレイを見てとてもわかりやすかったです。
- 決めつけない、口をはさまない、1分以内というルールを見える可して進行するとスムーズに進められることがわかりました。

【その他、ご意見、ご提案等、自由記載】

- 市民後見人、社協の法人後見とも動いてきた。次の人材の育成が必要。成年後見を使わない人への意思決定支援システムを作りましょう。
- このような研修がありよかったです。
- これからの支援に役立てたいと思う。
- 障害福祉から介護保険へ制度上しかたがないことかもしれないが、本人さんも関わってくださる方もかわるので、とまどいがある。ゆっくりと、受け入れられるよう、待つことも必要なのだと感じた。本日はとてもよい勉強になりました。
- 本人ミーティングらしきものはしていましたが、そこでの配慮や工夫がとても参考になりました。実行していきたいと思います。
- 大変よい研修でした。